

HUGコミ

第23号

2015年7月

hug.com

発行元:NPO法人HUGこども

もパートナーズ(東村山市秋津町) / TEL&FAX:050-3510-4587 / E-Mail info@npohug.com / URL http://npohug.com

HUGの活動紹介

トコトコ通信

子育て楽しんでる?

ママからママへ...

いつも読んでくれるのもママたちですが、作っているのもママたちです。

「子育ては一人でしなくていいんだ」と思える場。そして、それを発信したい!!

毎月、助けあい「ながら、1つのモノ」を作りあげていく達成感!!

多くのママたちの熱い支持があつての続けることができている。

育児での失敗、小泣きや落ち込みが自分だけじゃないと思える。「あるある!」に助けられる。

まだまだですが、ここでずいぶんパソコンを使えるようになりました~

一冊にあるトコトコの冊子をとって、ママを見かけるといい雑誌にジーンとします。

いろんなテーマを取りこめて、メンバーの意外な才能やエピソードを発見。それがまた次の新しい企画につながっていきます。

トコトコ通信、作っているメンバーはこんな事を考えています。

編集メンバーに「トコトコ通信」の作成に参加した動機や活動してみたの感想を聞いてみました!

ママたちが作るミニコミ誌。毎月発行! 2002年の創刊から新メンバーに引き継がれつつ継続し、7月号として記念の150号目を発行することができました。



『なるほどの対話』河合隼雄 著 吉本ばなな 著 新潮文庫 520円(税別)



『山とそば』ほしよりこ 著 新潮文庫 497円(税別)

心理療法師の河合隼雄氏と小説家・吉本ばなな氏の対話集。

「学校は自分をぐしゃぐしゃにした」と言われるほどに、辛い学校生活を送ったばななさんは、とうとう高校の三年間をほとんど寝て過ごします。そのことについて、父である吉本隆明氏はなにも言わない、けれど雨戸を締め忘れると猛烈に叱られる。それに河合氏は「三年寝ていても黙ってるけど「雨戸締めなかったら殺すぞ」ぐらいのファイトがなかったらダメだ」と応えます。なるほどね~と思った最初のエピソードです。

そしてばななさん、「深刻な子どもたちをどうしてあげようとは思わないけど、「裏切りたくない」という気持ちはすごく強い。」すごいエールだな。苦しい人たちの気持ちがちょっと楽になる小説を書くのが私の仕事だと。私も私の「仕事」を見つけない(S)

人間界にまぎれこみ、お手伝いさんとして働く猫の日常を描く不思議な漫画「きょうの猫村さん」。その作者ほしよりこさんが信州や岩国、阿蘇など旅先でのエピソードをつづる旅の絵日記です。鉛筆描きの文字とイラストが散らばる独得のスタイルは、読みにくいかと思いきや意外にすんなり入ってきます。

合作絵本を作るため、編集者や作家と共に安曇野に合宿にやって来たほしさん。温泉やそばを堪能し、趣のある民芸品や器に心躍らせ、仕事が終わってもさらに信州の旅を続けることに...表題作の他「ヘビに巻かれて」「カルデラのある町で」の2編も力作、素朴でほんわかしたスケッチに旅心がかきたたられ、不思議なほしさんの魅力にすっかりハマります。(M)

HUGのスタッフの おすすめBOOK



『僕たちの国の自衛隊に21の質問』半田滋 著 講談社 1300円+税

息子の友だちに自衛隊志望の子がいます。人助けをしたいのだと。自衛隊といえば、私が生まれる前からすでにあつて、なるほど心優しい彼らしい夢だと、妙に納得していました。

ところが、こここのところの自衛隊の「海外派兵」の可能性に関する話題(そもそも「兵」とつくのもおかしいと思うのですが...)で、ハッとしました。自衛隊は人を守る人たちなのに、これからは殺されそうになったり、その結果誰かを殺す可能性もあるのではないかって。なんだかじっとしていられなくて、少しでも知りたいと手に取った一冊です。中身は読んでのお楽しみ!(R)

雑記報

■子育てひろばを卒業した子どもたちになった子たちのことが気になります。子どもを取り巻く環境がタイトになった時代。大変だろうけれど、楽しいこともたくさんあるといいなあと折る気持ちです。■映画の話題をいくつか。もう観られた方も多いと思いますが、東村山市がロケ地となった「あん」。俳優さん達の演技と思えぬ自然な存在感と共に、「何かなれなくても生きる意味があるのよ」という台詞に象徴される河瀬直美監督のメッセージがあふれたとても心に残る作品でした。後にはいつものまちの風景が少し違って見えました。■もう一つは「みんなの学校」。不登校も特別支援学級もない同じ教室で一緒に学ぶ、大阪のふつうの公立小学校のドキュメンタリー映画です。丁寧に子ども達に向き合う先生達の姿と地域の人の協力が子ども達の笑顔をつくっています。9月20日(日)は東村山市でも上映会があるとのこと。おススメの作品です。■8月23日(日)には「標的の村」が上映されるそうです。沖繩でのオスプレイ配備と普天間基地の辺野古移設反対運動を追ったドキュメンタリー。「知る機会にぜひ。■音楽イベント「まちジャム」の2日目、7月26日(日)12~16時、大谷稲荷公園の「おいなさんジャム」では、子どもたちが楽しめる企画がたくさん♪ HUGの青空食堂もオープンします。美味しく遊んで体によいカレーなど用意していますので、みなさん遊びに来てください。お待ちしております。■「子どもの成長(外)遊び」。先日の学習会でのキーワードです。私たちの子ども時代に比べ貧弱な遊び環境。さまざまな経験が不足しています。すべての子どもたちがちゃんと遊べて、ちゃんと学べる環境作りを進めることが急務です。豊かな人の育ちが豊かな人間関係を生み、子どもとその家庭のためだけでなく、誰にとっても住みやすいまちづくりの歩みになるのでしょうか。戦後70年目、節目の夏はもう目の前。よい夏をお過ごしください。

「子どもの心の発達とその問題」

幼児相談室 馬場教子先生

毎年秋に行われるファミリー・サポート・センター提供会員養成講習会の講座の中には、子育て中の方が聞くとためになる内容のものがたくさんあります。特に幼児相談室 馬場先生をお招きしての「子どもの心の発達とその問題」の講座は、「もっと子どもが小さい時に聞いていれば・・・」という感想を頂くことも・・・そこで、今年は、この講座を公開講座としました。保育もありますので、子育て真最中の方もぜひご参加ください。



日程 9/28 (月) 10:00~12:00
場所 東村山市地域福祉センター1F 地域福祉活動室
(ファミサポ・ころころの森と同じ建物)
保育 先着8名まで(対象0歳~2歳児)
申込み 9/1 (火) より
NPO法人 HUG こどもパートナーズ
電話 050-3510-4587 までご連絡ください

ぷくぷくダイアリー 「絵本ひろば」



毎月一回、市内の読み聞かせボランティアの方が絵本や紙芝居、かわいい手作りのくまちゃんと一緒に来て下さいます。

くまちゃんの「はじまるよ〜」でみんな集中。今日はどうな話かな? 「ひろば」で読んで下さる本もボランティアさんが季節やテーマに合うものを選んで下さいます。

絵本だけでなく、わらべうたや手作りのかえるちゃんも出てきます。ぷくぷくのおもちゃが気になってトコトコ歩いて行っちゃったお子さんも「あ! 楽しそう!」とママのおひざに戻ってきて一緒に楽しめます。「さようなら〜」の歌とくまちゃんに「バイバイタッチ」をしたら終了です。毎回、あっという間の30分です。

30分間じっと座ってなくても大丈夫。ちょっとだけでも聞いてくれたらいいんです。

絵本が好きになってくれて、ママとお子さんがたくさんコミュニケーションが取れたらいいな...の気持ちを込めた「絵本ひろば」のお話でした。



絵本の選び方をお聞きました。

- ・ママが楽しかった絵本
- ・丈夫で繰り返し読める絵本
- ・ことばのリズムが楽しい絵本
- ・季節の絵本

「絵本ひろば」での絵本も参考にしてはいかがでしょうか。

■ぷくぷく「絵本ひろば」
毎月第2月曜日 11時〜

のぐちちよう子育てひろば ぷくぷく 東村山市野口町2-4-36 TEL 393-4181
(東村山駅西口より徒歩13分、スーパーカネマンさん斜め向かい)



今年もファミサポ提供会員 養成講習会が始まります。

年に一度の機会です。ご興味のある方はぜひ!!



ファミリー・サポート・センターは、育児の支援をしてほしい方と、支援のできる方が会員となって、地域の中で子育てを支え合う「たすけあい」の活動です。「自分が子育てしている時、誰も助けてくれる人がいなくて困ったから今度は助けてあげたい。」「空いている時間で何か地域の役に立つことがしてみたい。」そんな気持ちがある方を探しています。ぜひ提供会員になって下さい。仕事や趣味などご自身の時間も大切にしながら、空いた時間を社会のために、子ども達のために役立てることができる活動です。

平成27年度 提供会員養成講習会 日程表

日付	時間	講習項目
9/16 (水)	9:00~10:00 10:00~12:00	事業概要説明 子どものくらしとケア
9/18 (金)	9:00~12:00	保育の心 子どもの事故と安全
9/25 (金)	10:00~12:00 13:00~16:00	子どもの栄養と食生活 応急処置と救急対応(普通救命講習)
9/28 (月)	10:00~12:00	子どもの心の発達とその問題①
9/30 (水)	10:00~12:00	子どもの心の発達とその問題②
10/2 (金)	10:00~12:00	子どもの遊び
10/6 (火)	10:00~12:00	小児看護の基礎知識
10/8 (木)	10:00~12:00	身体の発達と病気
10/13 (火)	9:00~12:00	援助活動を円滑に進めるために

※日程・内容については変更が生じる場合があります

- 【場所】 東村山市地域福祉センター1階 地域福祉活動室
(所在地はセンターと同じです。上記の住所をご参照ください)
- 【定員・資格】 市内在住の20歳以上で、提供会員として登録後に活動できる方、先着50名
※ 特別な資格は必要ありません
※ 提供会員の登録には本講習会の受講が必要です
- 【参加費】 無料(ただし、普通救命講習はテキスト代1,400円が必要です)
- 【保育】 2歳以上の幼児、3名程度(事前予約が必要です)

「興味はあるけど...」「講習に全日は出られない...」など迷っていらっしゃる方も、ぜひお気軽にご相談ください。皆さまのご参加をお待ちしています!



■お申込み・お問合せは■
お電話か、
直接センターにお越しください

東村山市
ファミリー・サポート・センター
tel 393-5137

〒189-0022
東村山市野口町 1-25-15
東村山市地域福祉センター2F
東村山市子育て総合支援センター
ころころの森 内

メールは↓
famisapo@waltz.ocn.ne.jp

お申込みは
8月3日(月)より
受付けます